

観光社会資本の事例

テーマ	佐田岬メロディ - ライン(一般国道197号)		
【施設の状況写真】			
			
全長約 40km の日本一細長い半島。		絶景が堪能できる人気のドライブコース。	
【施設の利用写真】			
			
展望デッキからは瀬戸内海と宇和海が一望でき、「佐田岬メロディーライン」の中間地点における休憩スポットとして人気を得ている「道の駅 伊方きらら館」		半島特有の風を利用したジャンボ風車による発電でのモデル温室栽培や、子供達の遊具を設置したふれあい広場など、ドライブ途中の休憩スポットとして人気を得ている「道の駅 瀬戸農業公園」	
【観光資源としての利用状況】			
なだらかな海岸線の宇和海と、リアス式海岸の瀬戸内海に囲まれた佐田岬半島。縦走するメロディーラインを進むと、ウバメ樫が繁る須賀公園や高茂牧場、県立自然公園にもなっている磯釣りのメッカ・番匠鼻など、様々な見所が楽しめます。			
途中には道の駅も2箇所あるので疲れたら休憩し、風のメロディや潮騒を聞きながら快適に走ることができます。また1km も続く砂浜が美しい川之浜海水浴場をはじめ、塩成、大久などの海水浴場もあり、岬の先端の佐田岬灯台から九州が見渡せる風景も美しいです。			

テーマ	佐田岬メロディ - ライン(一般国道197号)
【社会資本の基礎データ】	
名称	佐田岬メロディ - ライン
所在地	愛媛県八幡浜市～愛媛県西宇和郡伊方町(旧 三崎町)
事業名	一般国道 197 号佐田岬半島道路
事業主体	国土交通省(旧 建設省)・愛媛県
事業期間	昭和 45 年～昭和 62 年
【社会資本の役割・効果】	
<p>本地域を通過する一般国道 197 号は、高知市と大分市を結ぶブロック間の主要幹線道路であると共に、地域の唯一の生活道路としてその役割は重要です。</p> <p>このため昭和 41 年度から調査を開始し、昭和 45 年度事業化、15 年の歳月を費やして昭和 62 年に全線開通(L=39.7km)しました。</p> <p>この道路の完成によって、八幡浜市～伊方町(旧 三崎町)は距離にしてL=15.5km、時間にして 60 分の短縮となり、地域間の結びつきが一層強くなりました。</p> <p>また、この道路からは両側に海が眺望でき、波の音と風の音をイメージした「佐田岬メロディ - ライン」の愛称とともに、地域の観光資源として大いに役立っています。</p>	
【位置図】	
 <p>The map illustrates the Sada Peninsula Melody Line (佐田岬メロディライン) connecting Iwakura Town (伊方町) and Yatsuhashi City (八幡浜市). The route is highlighted in red and follows the coastline of the Sada Peninsula. Key locations and landmarks shown include Iwakura Station (道の駅 伊方きらら館), Sada Peninsula Station (道の駅 瀬戸農業公園), and various islands such as Sada Island (佐島), Kuro Island (黒島), Oshima (大島), and Daikoku Island (地大島). The total length of the route is indicated as L=39.7km. The map also shows the surrounding sea and other regional roads like Route 197 and Route 378.</p>	
【関連ホームページ】	
四国の「道の駅」関係 http://www.skr.mlit.go.jp/road/rstation/eki.html	